

UTシステム総長、システム全体での発展を目的とした
2015年～2020年の構想を発表（11月5日）

テキサス大学システム（University of Texas System : UT System）のウィリアム・マクレーベン総長（William H. McRaven）は11月5日、国家の次世代リーダーの育成、脳研究の主導、世界トップレベルの学者・研究者の積極的勧誘などを含む、UTシステム発展のための今後5年間の構想「UTシステム総長による2015年～2020年の構想（Chancellor's Vision for the UT System 2015-2020）」を理事会において発表した。本構想は、新たな手段を通して事業に取り組み、新分野を開拓して、UTシステムを世界的な影響力を持つ公立高等教育システムとすることに重点を置いている。同構想の主要な内容は以下の通り。

- ・読み書き能力向上に重点を置いた、高等教育とプレK-12（保育園から高校3年生まで）の教育との間での過去にないレベルでの協力を発展させる「テキサス可能性イニシアティブ（Texas Prospect Initiative）」の立ち上げ。
- ・リーダーシップ及び倫理訓練をテキサス大学の全学生の主要カリキュラムの一部とする「米国リーダーシップ・プログラム（American Leadership Program）」の立ち上げ。
- ・世界トップレベルの教員採用のために投資を刷新。
- ・UTのリーダー的職務において、女性・マイノリティに対する公平性・機会提供の強化を重視。
- ・脳研究を拡大。

なお、総長による2015年～2020年の構想は、
<<https://www.utsystem.edu/offices/chancellor/leading-complex-world>>から閲覧可能。

The University of Texas System, Chancellor McRaven unveils ambitious vision for UT System
<http://www.utsystem.edu/news/2015/11/05/chancellor-mcraven-unveils-ambitious-vision-ut-system>